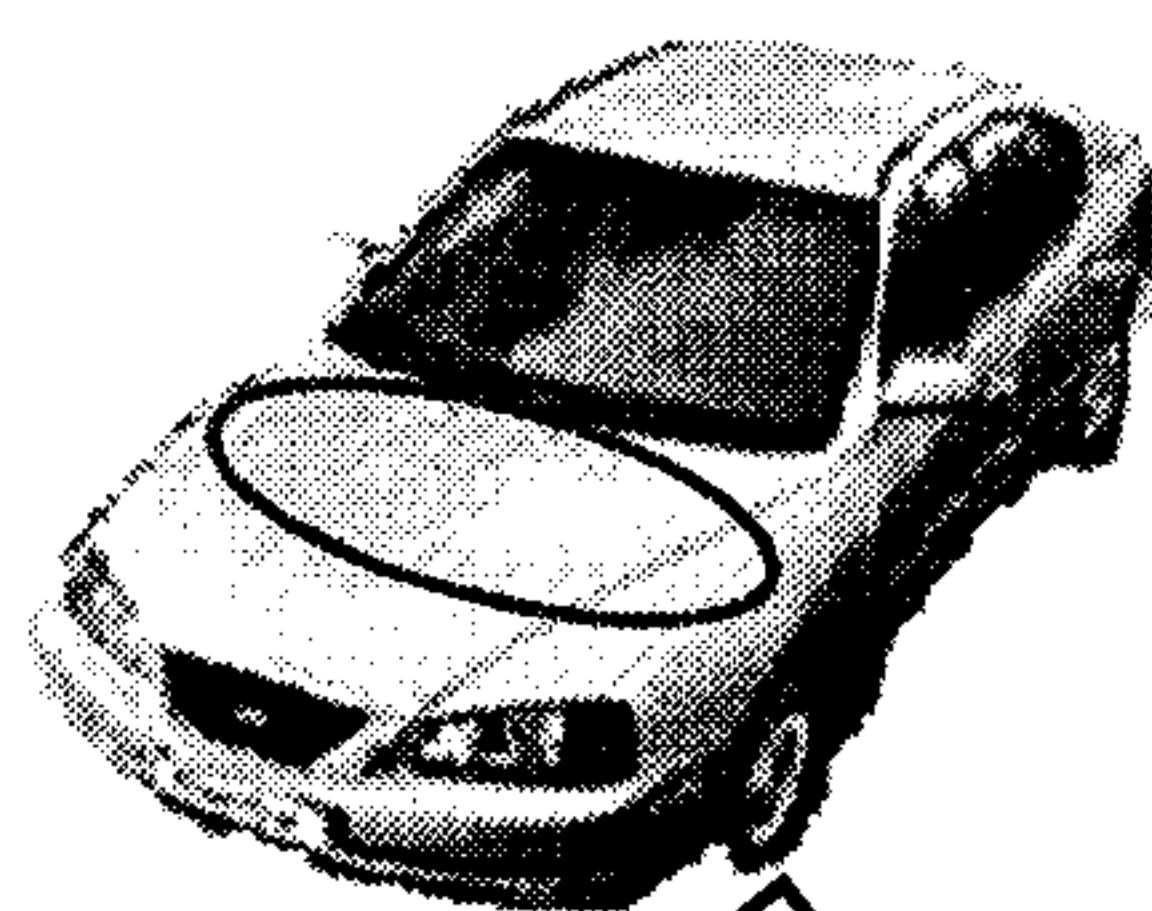
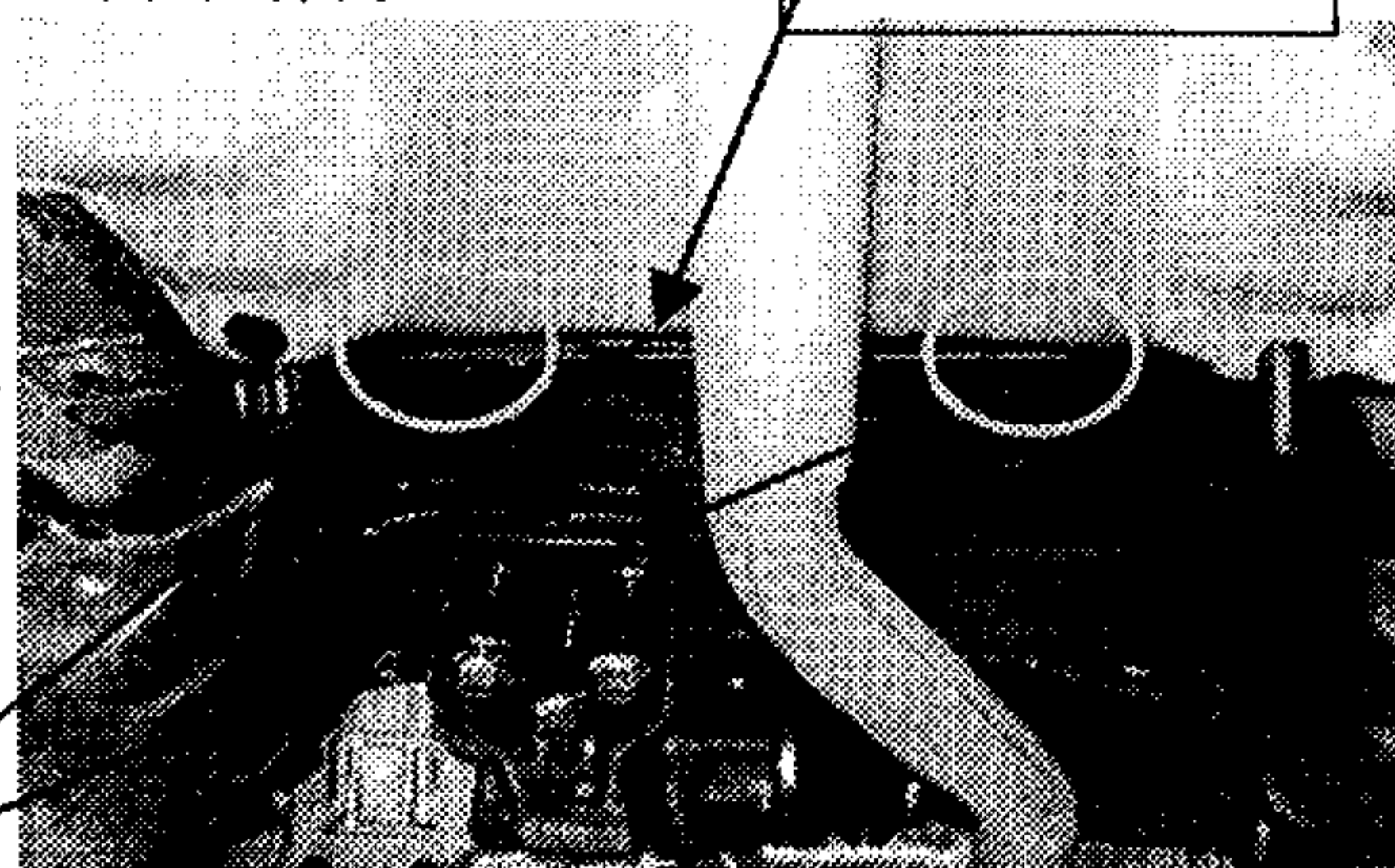


改善箇所説明図



<車両底部側>

ブレーキパイプ

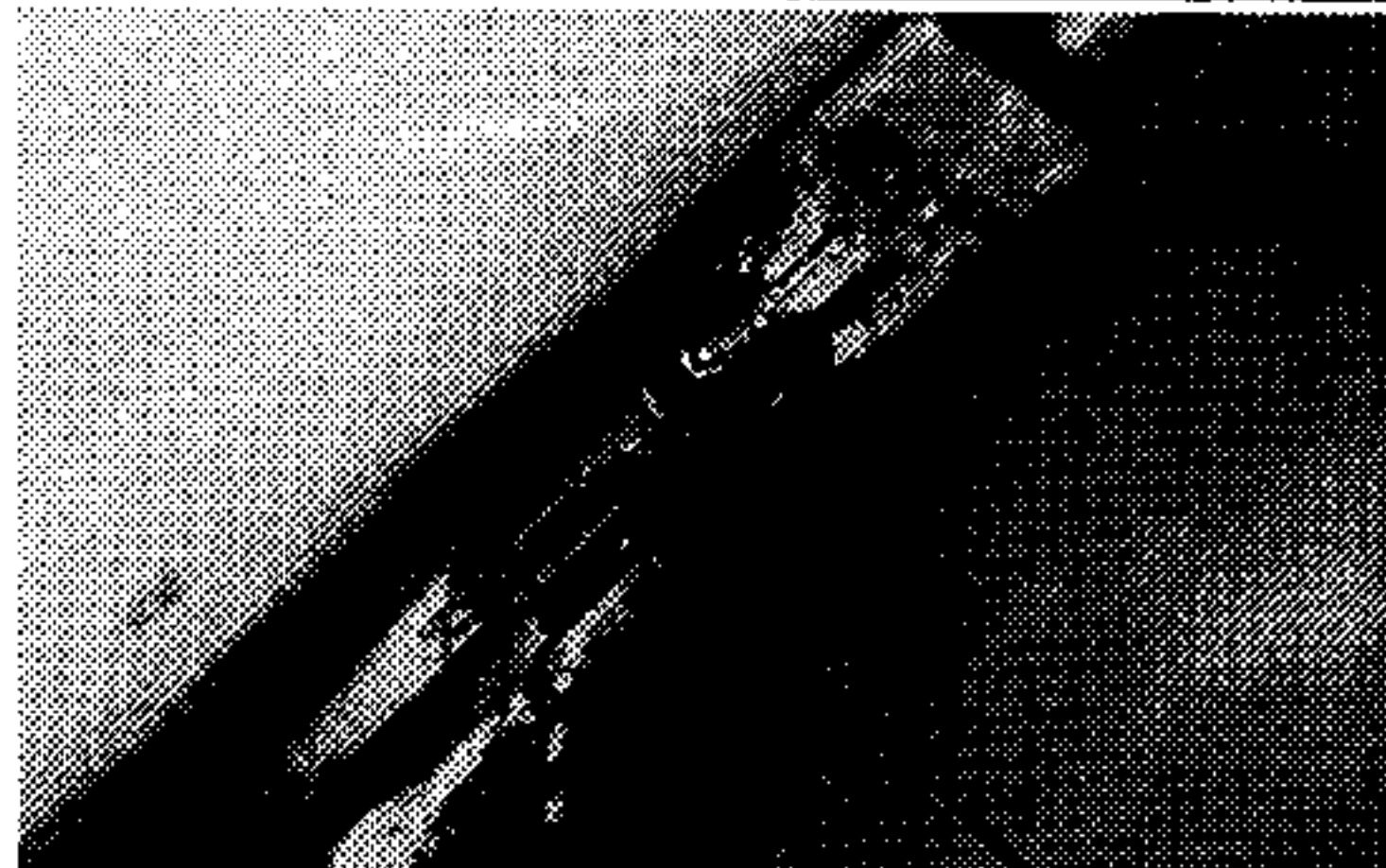


基準不適合発生箇所

ブレーキパイプの固定方法が不適切なため、走行時の振動等により当該パイプとステアリングギアボックス固定ブラケットとが干渉するものがある。そのため、当該パイプの防錆皮膜が剥がれて腐食し、最悪の場合、当該パイプが損傷してブレーキ液が漏れ、制動力が不足するおそれがある。

改善の内容

全車両、ブレーキパイプの点検を行い、パイプに損傷が認められた場合はブレーキパイプを交換する。損傷が認められない場合でも、パイプの固定器具の取付けと防錆処理を行う。

改善箇所 左側	改善箇所 右側
	
ブレーキパイプ固定器具（追加）	